

東北の巨大ねぶたが 18,000km 先のブラジルカーニバルへ！ サンパウロたちねぶたプロジェクト 2015

起ちあがれ東北！ありがとう BRASIL！サンパウロたちねぶたプロジェクト 2015 実行委員会は、2015年2月にブラジルのサンパウロで行われるサンバカーニバルにて、青森県五所川原市が所有する15mの「たちねぶた」を披露するプロジェクト「起ちあがれ東北！ありがとう BRASIL！サンパウロたちねぶたプロジェクト 2015」を実施いたします。

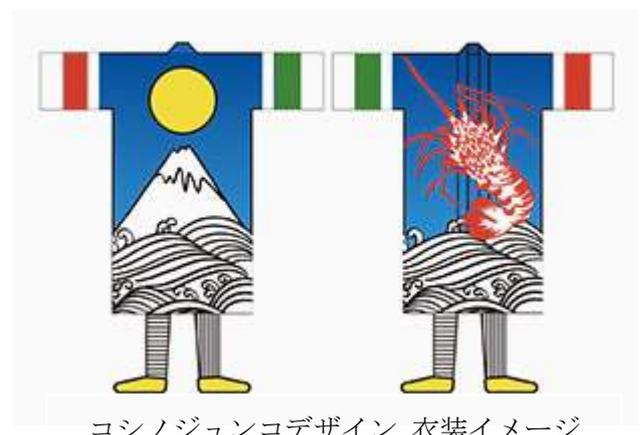
当プロジェクトは、「日伯修好通商航海条約 120 周年」を迎える 2015 年に、160 万人の日系人が暮らすブラジルで日本の本物の祭りを披露することで、日伯の文化交流に寄与するとともに、2016 年リオデジャネイロオリンピック、及び、2020 年東京オリンピック開催に向けて、サンパウロ市、ならびに五所川原市を中心とした東北全域への観光客誘致や経済の活性化に貢献することを目的としています。

また当プロジェクトは、サンパウロサンバカーニバル 1 部リーグの有力チームである「アギア・ジ・オウロ」の協力を得ており、たちねぶたは「アギア・ジ・オウロ」のカーニバルパートにて、山車の一つとして出場いたします。出場するのは、震災後に復興の祈りをこめて制作されたたちねぶたである「復興祈願 鹿嶋大明神と地震鯨(なまず)」になります。これには、東日本大震災後の義援金や重機を使ったがれきの撤去、様々な物資の寄贈など、ブラジルからの支援に対する感謝の気持ちが込められています。

加えて、「アギア・ジ・オウロ」のカーニバルパートには、当プロジェクトの実行委員であり、発起人でもあるファッションデザイナーのコシノジュンコさん、五所川原市平山誠敏市長のほか、現地在住の日本人や日系人のダンサーが参加し、参加者はコシノジュンコさんがデザインした法被を衣装として着用する予定となっております。



サンバカーニバル 出場イメージ



コシノジュンコデザイン 衣装イメージ

【起ちあがれ東北！ありがとう BRASIL！サンパウロたちねぶたプロジェクト 2015 概要】

- ・ 主催：起ちあがれ東北！ありがとう BRASIL！サンパウロたちねぶたプロジェクト 2015 実行委員会
(JUNKO KOSHINO 株式会社、特定非営利活動法人国際交流促進協議会ほか)
- ・ 共 催：独立行政法人国際交流基金、五所川原市、
- ・ 後 援：外務省、観光庁、青森県、駐日ブラジル大使館、一般社団法人在日ブラジル商業会議所、
特定非営利活動法人在日ブラジル人を支援する会（予定）
- ・ 協 賛：株式会社商船三井、鈴与株式会社、ターキッシュ エアラインズ、味の素株式会社、ブラデスコ銀行、株式会社アオイ、株式会社三修社、JUNKO KOSHINO 株式会社、
株式会社ブレイン、ほか
- ・ 実施期間：2015年2月13日(金)～2月18日(水)
- ・ 実施場所：ブラジル・サンパウロ Sambódromo do Anhembi (サンボードロモ・ド・アニエンビー)
- ・ 公式ホームページ：<http://tatinepta-project.jp>

<本件に関するお問合せ先>

起ちあがれ東北！ありがとう BRASIL！サンパウロたちねぶたプロジェクト 2015 実行委員会事務局
(国際交流促進協議会内)

担当：佐藤絵麻、坂爪 TEL：03-5775-3654 E-mail:info@ainexnpo.org